

# 留学体験記

留学されたおふたりの体験記を紹介します。ぜひ留学を考えてみてください。

## 留学実例 ～ルンド大学～

藤倉 義朗

期間:3回生後期(2019年8月21日～2020年2月1日の約5ヶ月)  
行き先:ルンド大学(スウェーデン南部の学生都市)  
費用:奨学金25万円 自己負担月10万円(生活費など)



### ①留学開始から留学終了までの簡単なスケジュール

#### 出発前(出発2ヶ月前くらい)

留学先でとる授業の申請、寮の契約、留学の手続き、航空券の予約など(結構ぎりぎりにもろもろの手続きをしていた印象がある。)

#### 留学初期(初めの2週間くらい)

新しい生活基盤を整える(自転車の購入、スーパーの位置の把握など)  
友達作り、オリエンテーション、スウェーデン語の授業など

#### 留学中期

生活環境にも慣れ、友達も増え、授業にも慣れる

#### 留学後期

期末テストなどを終えて帰国

### ②留学を決めた理由

もともと留学をしたいと思っていた。三年生の後期に半年間留学をしたとしても留年をせずに卒業できることがわかったため。

## ③留学の準備

### 情報収集

基本的にはネットで情報収集した。それでもわからないことは、松浦先生などの**教授陣**に相談した。

### 留学が決まるまでの準備

留学に向けて英語の外部試験などは特に受けていない。申請書の作成については留学先の大学から送られてくるメールに従って行った。(そんなに難しくない)

面談などは特になかった。行きたい気持ちさえあれば基本的には行かせてもらえる雰囲気。

### 留学が決まった後の準備

#### ・お金関連

スウェーデンは**クレジットカード**があればなんとかなる。クレジットカードは**二枚以上**持っておいたほうが良い。現金は、ほとんど使う機会がない。自分はローカルのボルダリングジムに通っていたが、そこは珍しくクレジットカードが使えず、現金で支払いをしていた。一般的には、現金が使えないことが多い。

#### ・保険関連

民間の保険には加入していない。(これについては他の大学から来ていた日本人に相当驚かれた。) **ルンド大学の保険**には自動的に入ることになるが、この保険は旅行などでスウェーデン外に出た時は**保険対象外**になるので、本来は別途、**民間の保険**に入る必要がある。

#### ・住居関連

ルンド大学の場合、住居はかなり**飽和状態**。他大学の日本人の中には入国前に、住居の契約ができていない人も多くいた。**早めに住居の契約**はしたほうが良い。住居にも様々なタイプがあるが複数人で共同生活する**コリドータイプ**が個人的にはお勧め。一人暮らしタイプの部屋を借りていた人は途中でホームステイタイプや、コリドータイプに住居変更していた人が多かった印象。住居費に関しては、毎月クレジットカードで決済していた。5万円くらい。寮にもいろいろあり寮によって生活が大きく変わるため情報収集はしっかりとすべき。



紅葉するルンド大学図書館

## ④留学中のこと

### ・現地の大学の授業について

ほとんどの授業が**英語**で行われる。(留学生が含まれるクラスで、スウェーデン語で授業が行われることはないと思う。)

日々出される課題、読まなければならない本の分量などは授業にもよるが、日本よりも多い印象。プレゼンテーションが多い。

### ・現地での生活について

はじめは、アジア系の留学生との交流が多かった。(欧米の英語についていくことが難しいため)

徐々に、現地のスウェーデン人、ヨーロッパ系の友達が増え始め英語が理由で友達を選ぶことはなくなる。

特に、自分は**コリドーでの交流**でいろいろな国の人と仲良くなる機会が多かった。



地元のマラソン大会に参加した時の様子

## ⑤最後に一言

行きたい気持ちがあるなら、迷わずに行くべきだと思う。いろいろ不安なことがあるかもしれないが何とかする。行って本当に良かったと思っている。



### ↑ 食後のデザートはティラミス

(ここは半年間過ごしたコリドー。このコリドーは理学系の学生専用のもので、コリドーメイトも運よく数学系が3人いた。全員フレンドリーな院生以上で、分からないことは何でも教えてもらえる素晴らしい環境だった。よく、晩御飯を一緒に作って友達を招待し、パーティーを開催。食後のデザートはティラミス多め。)

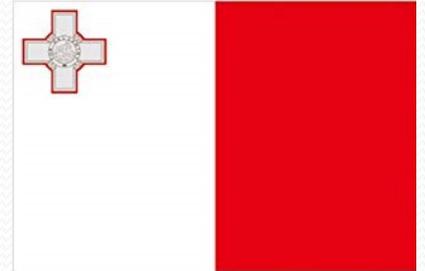


### ↑ 友達の誕生日パーティー

(中国、ベトナム、バングラディッシュ、オーストラリア、日本でそれぞれの国の料理を披露。)

# 留学実例 ～マルタ大学～

土肥 理宏



期間:3回生後期(2019年9月～2020年2月の約5ヶ月)  
行き先:マルタ大学(マルタ共和国、地中海に浮かぶ小さな島国)  
費用:奨学金36万円 自己負担14万円

## ①留学開始から留学終了までの簡単なスケジュール

### 留学初期(9月・10月)

9月 マルタへ出発 オリエンテーション 履修登録

10月 授業開始。私は有限群、複素解析、距離空間、微分方程式、幾何の授業を取りました。

### 留学中期(11月・12月)

11月 フランス旅行(パリ モンサンミッシェル)

12月 ヨーロッパ旅行(スイス イタリア ハンガリー オーストリア チェコドイツ)

### 留学後期(1月・2月)

1月 期末テスト

2月 帰国



↑ 世界遺産でもある首都のバレッタ

## 〈マルタ共和国について〉

マルタ共和国は、地中海に浮かぶ小さな島国でありながら、ヨーロッパの多くの学生が留学に来る国でもあります。その理由としては、公用語が英語とマルタ語であること、物価が安いこと、そして地中海の温暖な気候であることなどが考えられます。また、マルタはリゾート地としても知られ、首都のバレッタは街全体が世界遺産であり、海に行くと地中海の美しい海を感じることができます。そんな魅力あるマルタには、過去にエリザベス女王やブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリーが新婚旅行で訪れています。



↑ マルタの美しい海



↑ マルタの街並み



↑ 住んでいた学生寮

## ②留学をした理由

### 1つ目

海外で暮らしてみたいからです。大学1年生の春休みに初めて海外旅行をし、そこで日本にはない外国の街の雰囲気に魅了されました。レンガの建物に石畳の道路といった街の雰囲気は、私の心をくすぐり、そんなオシャレな街でいつか暮らしてみたいと考えるようになりました。

### 2つ目

刺激的な毎を送りたいと思っていました。一度きりの人生だからこそ、後悔しないようたくさんのことに挑戦し、経験し、その経験から自分を高められたらなと私は考えています。実は、3年生の後期に留学をしますが、その少し前である2年生の春休みに、理学部海外派遣プログラムに参加し、スウェーデンのルンド大学に1週間の留学に行きました。そこで、初めて海外の大学で授業を受け、刺激的な1週間を過ごすことができ、その経験から留学をしたいと思うようになりました。

### 3つ目

英語を話せるようになりたいからです。これからの時代、グローバル化が進み、どんな職業であっても英語は必要になると思います。また英語が話せることは、就職活動等においても自分を支えてくれる武器になるので、英語をマスターするためにも留学を決めました

## ③留学の準備

Shakhmatov先生がマルタ大学についていろいろとご存じだったので、よく相談をしました。

また、Shakhmatov先生を通して、昨年マルタ大学へ留学した先輩を紹介してもらうなどして、いろいろと情報を収集しました。

英語で書かれた文章を読み、必要な書類をそろえるのは苦勞しましたが、何とかあります。

**飛行機**は早めにとることで、安く抑えることができ、**保険**も愛媛大学にある国際連携支援課に相談したところ、安くなりました。

**学生寮**については、マルタ大学の方から案内があり、それに従いました。**ビザ**はマルタに入国してから取得し、大学のオリエンテーションで詳しく説明があります。

## ④留学中のこと

大学での授業は英語で行われるので、毎日復習を行い、その日授業で出た単語を調べるといった生活をしていました。おかげで、数学の英単語は詳しくなれました。

学生寮での生活は、ルームメイトが夜は部屋中の電気をつけた明るい状態でないと眠れない特殊体質で朝は起きる2時間前から目覚ましを5分おきに鳴らさないと起きられない人であったので、最初の1週間は寝不足な日々でした。ただ、人間は想像以上に環境への適応能力があり、すぐに安眠できるようにはなりました。私の学生寮での生活は**ルームメイトの生活スタイル**に苦しめられましたが、それ以外は多くの海外の学生との交流を通して、英語も上達し、私の望んでいた**刺激的な日常**が送れたので、今は**満足**しています。

## ⑤最後に

大学私は留学を通し、たくさんの貴重な経験ができました。真冬のドイツでホームレスのおじさんと友達の3人で川の字で寝たり、真夜中の無人駅で凍えながら電車を待ったり、初めての授業のときには、「マルチーズを知ってるか」と聞かれ、かわいらしいあの犬のことだと思い、「もちろん知ってる」なんて答えたら、実はマルチーズはマルタ語という意味があり、授業がマルタ語で行われるといったこともありました。

これらの経験は、今後私の人生を支えてくれると信じています。留学は、お金も時間もかかるにも関わらず、必ず満足するものになるとは断言できません。ただ、お金では買えない貴重な経験ができ、たとえ留学が満足のいくものでなくとも、留学という経験は、当たり前ですが留学をしない人には経験できないことであり、留学をしたというその経験は今後の人生で必ず役に立つと思います。だから、留学を考えている人はぜひ挑戦してみてください。

少なくとも私は、留学をしてよかったなと思いながら、この留学体験記を書いています。